

## II 調達物品に備えるべき技術的要件等

### 1 移動観覧席

#### (1) 本体寸法

間口： 6,460mm  
段数： 7  
総高さ： 収納時 2,461mm、リフトアップ移動時 2,561mm  
各段高さ： 320mm  
奥行き： 使用時 6,695mm、収納時 1,170mm  
各段奥行き： 850mm  
縦通路幅： 900mm  
縦通路数： 1

#### (2) 席数

1ユニット： 84席  
総席数： 84席×6ユニット=504席

#### (3) 主要部材

支柱、ローラーカバー、アーム、ブレーシング、リアビーム、フロントビームにより構成し、鋼材の規格は以下相当とする。

支柱：角鋼管 - BS EN 10219 S275

ローラーカバー：鋼板曲げ加工品 - BS EN 10025 S275

リアビーム、フロントビーム、アーム：鋼板ロール成形品 - JIS G 3134 SPFH590

表面仕上げは合成樹脂焼付塗装、色はブラックグレーとし、別途発注の建築工事で納入される壁面収納式移動観覧席と同色とする。

#### (4) 床 踏 材

厚さ t18mm プラスチック化粧合板

色はブラックとし、別途発注の建築工事で納入される壁面収納式移動観覧席と同色とする。

表面ノンスリップエンボス加工付きとする。

#### (5) ステップ（補助段）

各段の通路には独立した補助段を設定し、安全に歩行できること。

1段目のステップは着脱式（置式）とする。

通路部ノンスリップは補助ステップ部3方向、各段先端は通路間口間に設置とし、アルミ押し出し材（シルバー）とする。

#### (6) 総 重 量

本体重量および積載時総重量は、以下のとおりとする。

本体総重量： 2,837kg（±3%）

積載時総重量： 8,297kg（±3%）

（本体総重量+65kg×84人）

建築床に掛かる荷重については荷重分布図を提示すること。

荷重分布図は契約締結後、速やかに提出すること。

(7) 最大積載荷重

300 kg/m<sup>2</sup>以上とする。

(8) 椅子 ①

椅子は座自動跳ね上げ式としコンパクトに畳める方式とする。

座の跳ね上げは緩起立機構を有し、離席時の作動音を低減すること。

背、座は高密度ポリエチレンブロー成型品で、強度、耐衝撃性に優れていること。

なお、合板、インジェクション成型、ガスインジェクション成型は不可とする。

背座固定金物はアルミ合金ダイキャスト製で堅牢である事。

椅子起立装置は手動方式とする。起立完了時は、自動でロック装置が作動し椅子が誤って転倒しないものとする。またガススプリングを有し、椅子引き上げ時の重量軽減および、転倒時の作動速度を抑制し椅子、床への衝撃を緩和すること。

椅子背・座の色は15色より選択できるものとし、別途発注の建築工事で納入される壁面収納式移動観覧席と同形状・同色とする。

(9) その他

移動観覧席は建築本体の専用倉庫にすべて収納できること。

各部材の構成は、部分修理・交換が可能なよう設計されていること。

2 付属部品

1) ②側着脱式手摺 84本（専用台車に収納）

角鋼管加工品、合成樹脂焼付塗装。

塗装はブラックグレーとし、発注者と協議の上、決定とする。

設置床面から1,100mmの高さを全幅確保し、縦格子形状・格子間の隙間は80mm～110mmとする。

設置後の抜け落ち防止の対策が施されていること。

2) ③後部着脱式手摺 36本（専用台車に収納）

角鋼管加工品、合成樹脂焼付塗装。

塗装はブラックグレーとし、発注者と協議の上、決定とする。

設置床面から1,100mmの高さを全幅確保し、縦格子形状・格子間の隙間は80mm～110mmとする。

設置後の抜け落ち防止の対策が施されていること。

3) ④置式ステップ 6箇所 本体床に収納

置き式ステップ設置後のズレ防止の対策が施されていること。

4) ⑤着脱式サイドカーテン 84枚 本体床に収納

布製で防災機能があること。

装着後にフック等の突起物がないこと。

たわみや隙間がないように装着されること

- 5) ⑥着脱式バックカーテン 36枚 本体床に収納  
布製で防災機能があること。  
装着後にフック等の突起物がないこと。  
たわみや隙間がないように装着されること
- 6) ⑦本体操作ハンドル 4本
- 7) ⑧リフター台車 2台 (1ペア)  
運搬時の安全性を考慮した設計となっていること。  
キャスターは直径 50 mm以上、幅 40 mm以上、車輪材料はポリウレタン、重量用ローラーベアリング付きとする。  
3輪のターンテーブル式とし、1台に6セット以上使用し、初動時の操作力を軽減すること。  
リフトアップは油圧上下方式とする。
- 8) ⑨手摺用台車 9台
- 9) ⑩ブロック間塞ぎ 28枚 本体床に収納  
鋼板製、合成樹脂焼付塗装、レギュラートリム付き。
- 10) ⑪椅子操作ハンドル 6本 本体床に収納

### 3 安全機能

- 1) 展開時の蛇行を防止するために、平行展開機能を有すること。

### 4 操作方法

- 1) 移動観覧席の設営に際し、移動観覧席の移動はリフター台車 2台でリフトアップし人力により所定位置まで移動し、設置できること。
- 2) 本体の展開・収納は、専用操作ハンドルで行えること。
- 3) 本体展開時、収納時、リフトアップ時はロック機構により、各々の状態が保持されること。

### 5 保守、及び保証等

- 1) メーカーによるアフターサービス、メンテナンスのための専門の組織体制が整備されていること。  
検査時に組織体制が分かる資料を提出すること。
- 2) 緊急時の連絡受付窓口は 365日 24時間体制とし、休日並びに年末年始のサービス体制が確立されていること。また、専門技術者が対応すること。

- 3) 保証期間について、納入検査後 1 年間は、通常の使用により故障した場合は無償修理に応じること。
- 4) 納入後 15 年以上のメンテナンス部品供給を保証できること。
- 5) 納入後 2 年目以降については、任意契約でメーカーによる保守点検を行う体制を整備していること。

## 6 納入実績

- 1) 製造業者は移動式観覧席の設計、製造、施工を 30 年以上継続して行っており、毎年継続して納入実績があること。
- 2) 同規模のスポーツ施設（日本国内、公共施設）において、過去 10 年で移動観覧席（手動式、電動式）の納入実績を 10 か所以上有すること。  
施設名、納入年、席数などを示した納入実績表は、契約締結後速やかに提出すること。  
要件を満たし、またそれに相当する体制を整えることを書面により証明すること。